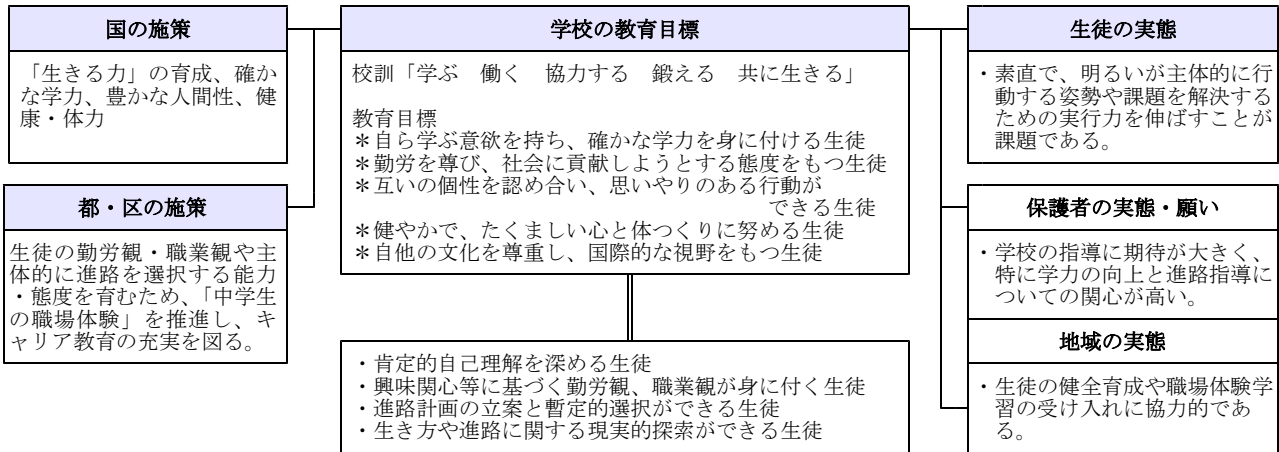


平成29年度 キャリア教育の全体計画



- ・肯定的自己理解を深める生徒
- ・興味関心等に基づく勤労観、職業観が身に付く生徒
- ・進路計画の立案と暫定的選択ができる生徒
- ・生き方や進路に関する現実的探索ができる生徒

キャリア教育の目標	
1 学ぶことと働くことの意義の理解	2 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用
3 社会における自らの役割や将来の生き方・働き方などを考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路選択決定を行わせる。	4 進路適正の吟味と進路情報の活用
6 主体的な進路の選択と将来設計	5 望ましい勤労観・職業観の形成

キャリア教育で育てる4つの能力			
＜人間関係形成・社会形成能力＞	＜自己理解・自己管理能力＞	＜課題対応能力＞	＜キャリアプランニング能力＞
<ul style="list-style-type: none"> ・他者の個性を理解する ・他者に働きかける力 ・コミュニケーションスキル ・チームワーク ・リーダーシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の役割理解 ・前向きに考える力 ・自己の動機付け ・忍耐力 ・ストレスマネジメント ・主体的行動 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の理解、選択、処理等 ・本質の理解 ・原因の追及 ・課題発見 ・計画立案 ・実行力 ・評価、改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶこと、働くことの意義や役割の理解 ・多様性の理解 ・将来設計 ・選択 ・行動、改善

各学年の指導目標		
第一学年「自己理解」	第二学年「自己啓発」	第三学年「自己実現」
①将来の生き方への関心を高め、夢や希望をもって充実した中学校生活を送れるようにする。 ②自己理解や進路計画の重要性を理解させる。 ③基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ・職業調べ ・社会福祉施設体験	①将来に向け、働くことや学ぶことの目的や意義について理解させる。 ②職業や上級学校等の情報を基に自己の能力等に応じた進路計画を立てさせる。 ③中堅学年としての自覚をもち健康で安全な生活を送れるようにする。 ・職場体験 ・上級学校調べ ・上級学校訪問	①将来を見通した進路の選択や決定ができるようにする。 ②多くの情報を収集・整理し自己の進路の選択・決定に活用する力を養う。 ③自分の生き方に誇りをもち最高学年としての自覚をもった生活を送れるようにする。 ・面接体験学習 ・高等学校進学学習

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的基本的な内容の定着を図り、柔軟な思考力や豊かな創造力、表現力を育成する。 ・生涯にわたって生きる力と学習を継続する意欲と態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度など道徳性の育成。 ・物事に主体的に取り組む、やり抜く強い意志をもつ生徒の育成。 ・礼儀をわきまえて自他の人格を大切に、共に向上を図れる生徒の育成。 ・地域社会の一員としての自覚を持ち郷土を愛することのできる生徒の育成。 ・道徳性を高めるための指導法の工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい集団活動の展開と望ましい集団の育成。 ・個人的な資質の育成。 ・社会的な資質の育成。 ・自主的、実践的な態度の育成。 ・人間としての生き方の自覚と自己を生かす能力の育成。 	横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようになる。

＜保護者との連携＞	＜関係機関・外部との連携＞	＜小学校・上級学校との連携＞
学校の教育活動情報を適宜伝え、保護者との連携強化を図る。・三者面談 ・進路説明会 ・定期的な保護者会	地域の人材や多様なゲストティーチャーを活用したキャリア教育の充実を図る。 ・地域の職場体験 ・会社経営者等の講話	小学校、上級学校と連携を深め、円滑な進路選択を進める。 ・小学校の出前授業 ・上級学校訪問